

略マップ

ますか。
みましょう！

Vol.2

ここに載せたお話のいくつかは、
この本に載っています。公共図書館や
学校の図書館にこの本があります。
一度読んで見てはどうですか…。



員会
文化振興事業団
文化振興事業団



かさがみさま おののこまち 瘡神様と小野小町(藍川)

人ごとに汲めば薬と岩清水

湧きて恵みを松の下つゆ 小町



岩井山延算寺東院 (落慶法要時)



つたえ話のあらすじ

1100年ほど昔、そのころの代表的な歌人の一人である小野小町は、都ではやっていた瘡瘡(ほうそう)という病気にかかり、体じゅうにひどい瘡(かさ)ができました。

ある日、お坊さんが「このままほうっておくといのちを落とすことになりますぞ。美濃の国に、この病気をなおしてくださる仏様がいらっしゃると聞いておる」と話しました。

小町は、すぐに美濃の国へと旅立ち、岩井にある延算寺にこもって、薬師如来に祈り続けました。七日目の夜、寝ていると、仏様のお告げが。「東の山のふもとに泉がわきでている。それで体を清めるがよい」

夜が明けるとすぐに、東の山のふもとに出かけました。松の木の下からこんこんとわき出ているきれいな水。ぬのに水をつけ体じゅうをふくと、体にできていた瘡がすべてとれてしまい……。

へびくび づか 蛇首塚(日野)

つたえ話のあらすじ

むかし日野村に、病の母を助けるために、必死に働く半六(はんろく)という若者がいた。ある日、草刈りをしていると、異様な手ごたえを感じた。

その夜、半六の前に大蛇が現れ、「お前の鎌で首を切られ、もう生きられない。でも、親孝行なお前を恨みはしない。その代わりに、わしを舟伏山の頂上に埋めてくれ。そこから村を見守ってやろう。」と言い残した。

村人たちは「蛇首塚」を建て、この塚に雨乞いや願い事をするようになった。



舟伏山中腹から見た景色はとても美しいよ。
日野小学校の近くにある「日野一号墳」から
山に入ると50分ほどで「蛇首塚」に着くよ。



つたえ話のあらすじ

なできごとがあります。
をもった天狗さまがいるそうよ。天狗さまは、うちわでお
せる。

空襲を受けました。警戒警報のサイレンが鳴り響く中、大
面、火の海。「わあ、こっちへ燃えてくる」と思ったとたん、
の方へ折れていきました。

は、天狗ではなからうか」「お寺のほとけ様が町を守ってく
「あ、そうや。慈恩寺の地藏様やないか。あそこの地藏様
」「火事が起こったら、地藏様をお堂の外にだすんや。す
にお堂の屋根に上がって、風をおこさせるそうや」…。

よ。